



2021年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年3月15日

上場会社名 株式会社 銚子丸 上場取引所 東
 コード番号 3075 URL http://www.choushimaru.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 満
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 仁科 善生 TEL 043-350-1266
 四半期報告書提出予定日 2021年3月30日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期第3四半期の業績 (2020年5月16日～2021年2月15日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第3四半期	13,501	△8.8	642	38.1	677	33.4	338	20.7
2020年5月期第3四半期	14,805	4.4	465	0.6	508	4.8	280	10.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第3四半期	24.68	24.68
2020年5月期第3四半期	20.47	20.46

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期第3四半期	13,327	6,862	51.4	500.99
2020年5月期	8,751	6,521	74.5	476.05

(参考) 自己資本 2021年5月期第3四半期 6,855百万円 2020年5月期 6,517百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年5月期	—	0.00	—	—	—
2021年5月期 (予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 2021年5月期の業績予想 (2020年5月16日～2021年5月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,951	△0.7	672	838.8	709	410.0	358	—	26.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.7「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年5月期3Q	14,518,000株	2020年5月期	14,518,000株
② 期末自己株式数	2021年5月期3Q	819,256株	2020年5月期	819,210株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年5月期3Q	13,698,770株	2020年5月期3Q	13,685,964株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、世界的に蔓延している新型コロナウイルス感染症拡大の影響により急速に悪化し、緊急事態宣言の解除後は持ち直しの動きが見られたものの、再び都市部を中心に緊急事態宣言が発令される事態となり、第4四半期会計期間以降も先行き不透明な状況が続くと想定されます。

外食業界におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う活動制限や外出自粛により、お客様の生活様式や外食に期待するサービス内容が激変しており、店内飲食が減少する一方で、人との接触機会の少ないテイクアウトやデリバリーサービスなどが増加する等、競争環境の変化が著しく、経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況において、当社は、お客様及び従業員の安心・安全を最優先にした「感染しない、させない営業」の徹底と、『お店との繋がり』が実感できる「ウィズ・コロナ時代の銚子丸劇場」への進化に邁進し、既存客の来店動機の抑制要因の軽減に努めました。

また、「アフター・コロナ時代」を見据えた収益モデルへの移行を積極的に推進するために、テイクアウトメニューの充実を図るとともに、2020年8月31日に当社初の「テイクアウト専門店」初台店及び2020年12月15日に同2号店千歳鳥山店を新規に出店しました。

一方、2020年5月より導入を開始した「出前館」及び「ウーバーイーツ」によるデリバリーサービスについても、2020年8月までに同サービス提供可能なエリア内に所在の全店舗に拡大しました。

更に、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、年末年始のお客様のニーズが店内飲食からテイクアウトへ大きくシフトすることを睨んで、2020年11月にデリバリー予約へのアクセス機能を備えた「銚子丸アプリ」の配信を開始しました。これに併せて、「オンラインお持ち帰り予約(スマホ・PCから簡単予約)」を全店に導入し、テイクアウト・デリバリー需要の更なる拡大を見据えた営業体制の充実を図りました。

店舗開発につきましては、当第3四半期累計期間において、上記「テイクアウト専門店」2店舗を新規に出店しました。一方で、「鮪Yasuke」大手町プレイス店についてはリモートワークの拡大に伴ってオフィスビル人口が激減し、コロナ禍を契機としたビジネススタイルの構造的変化に対して採算改善が困難と見込まれたため閉店(2020年10月)しました。また、経営効率化の観点から「すし銚子丸船橋店」を閉店(2021年2月)しました。この結果、当第3四半期会計期間末の店舗数は93店舗となっております。

当第3四半期累計期間における売上高につきましては、ウィズ・コロナ、アフター・コロナ時代を見据えたサービスの拡充を積極的に推進したことで、年末年始の売上の減少が最小限に留まった結果、当初予想を若干上回る135億1百万円(前期比8.8%減)となりました。

利益面につきましては、全社的に広告宣伝費・販促費の抑制や店舗賃借料の削減努力等、支出の管理の徹底に努めた結果、営業利益は6億42百万円(同38.1%増)、経常利益は6億77百万円(同33.4%増)、四半期純利益は3億38百万円(同20.7%増)となりました。

(注) 金額に消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ45億75百万円増加し、133億27百万円(前事業年度末比52.3%増)となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動資産は、前事業年度末に比べ48億4百万円増加し、107億8百万円(同81.4%増)となりました。主な内訳は、現金及び預金の増加46億68百万円であります。

固定資産は、前事業年度末に比べ2億28百万円減少し、26億19百万円(同8.0%減)となりました。主な内訳は、建物(純額)の減少1億7百万円であります。

(負債・純資産)

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ42億34百万円増加し、64億64百万円(前事業年度末比189.8%増)となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ42億40百万円増加し、60億88百万円(同229.5%増)となりました。主な内訳は、短期借入金の増加8億56百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加30億円、未払法人税等の増加1億45百万円及び未払金の増加1億77百万円であります。

固定負債は、前事業年度末に比べ6百万円減少し、3億76百万円(同1.7%減)となりました。主な内訳は、その他(リース債務)の減少10百万円であります。

純資産は、前事業年度末に比べ3億41百万円増加し、68億62百万円(同5.2%増)となりました。主な内訳は、利益剰余金の増加3億38百万円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第4四半期会計期間につきましては、当社が店舗展開する1都3県における緊急事態宣言の期限延長等、経営環境は依然として厳しい状況が続くものと予想されますが、第3四半期累計期間の業績推移を鑑みて、2020年9月15日公表の2021年5月期(2020年5月16日～2021年5月15日)の通期業績予想を修正いたします。

また、2021年5月期の配当予想につきましても、新型コロナウイルス感染症拡大という、未曾有の厳しい経営環境にあることを鑑みて未定としておりましたが、2021年5月期通期の業績が当初予想を上回る見込みであることから復配し、1株当たり6円の配当予想に修正しております。

詳細につきましては、本日公表の「2021年5月期通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年5月15日)	当第3四半期会計期間 (2021年2月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,245,531	9,913,730
売掛金	227,536	471,885
原材料及び貯蔵品	136,155	153,860
その他	294,998	168,936
流動資産合計	5,904,222	10,708,413
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	776,748	669,491
その他(純額)	545,051	451,366
有形固定資産合計	1,321,800	1,120,858
無形固定資産	11,406	24,933
投資その他の資産		
敷金及び保証金	883,067	854,327
その他	632,579	620,216
貸倒引当金	△1,078	△1,078
投資その他の資産合計	1,514,568	1,473,466
固定資産合計	2,847,775	2,619,258
資産合計	8,751,997	13,327,671
負債の部		
流動負債		
買掛金	619,779	598,183
短期借入金	144,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	—	3,000,000
未払金	800,923	978,218
未払法人税等	45,088	190,311
賞与引当金	106,785	130,550
株主優待引当金	33,589	28,433
店舗閉鎖損失引当金	2,000	2,000
その他	95,571	160,741
流動負債合計	1,847,738	6,088,437
固定負債		
資産除去債務	202,498	205,937
その他	180,480	170,357
固定負債合計	382,978	376,294
負債合計	2,230,717	6,464,732

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年5月15日)	当第3四半期会計期間 (2021年2月15日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	315,950	315,950
資本剰余金	253,729	253,729
利益剰余金	6,645,754	6,983,805
自己株式	△697,438	△697,493
株主資本合計	6,517,995	6,855,991
新株予約権	3,284	6,946
純資産合計	6,521,280	6,862,938
負債純資産合計	8,751,997	13,327,671

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年5月16日 至 2020年2月15日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年5月16日 至 2021年2月15日)
売上高	14,805,291	13,501,848
売上原価	6,037,325	5,473,805
売上総利益	8,767,966	8,028,042
販売費及び一般管理費	8,302,940	7,386,009
営業利益	465,025	642,032
営業外収益		
受取利息	1,363	1,066
協賛金収入	25,343	13,886
雇用調整助成金	—	13,317
その他	18,000	10,704
営業外収益合計	44,707	38,975
営業外費用		
支払利息	916	3,004
現金過不足	620	—
その他	—	54
営業外費用合計	1,536	3,059
経常利益	508,196	677,948
特別利益		
固定資産売却益	90	—
特別利益合計	90	—
特別損失		
固定資産除却損	10,092	0
減損損失	62,924	137,978
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	10,819
特別損失合計	73,016	148,798
税引前四半期純利益	435,270	529,150
法人税等	155,131	191,099
四半期純利益	280,138	338,050

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。